

研修のねらい

本年度第3回栄養部会オンラインセミナーでは、「能登半島地震の経験を活かし、医療を守る災害対応と業務継続のあり方を考える」をテーマに開催することとなりました。

災害時の対応は、病院等施設においては自助が原則とされてきましたが、大規模災害においては自助だけでは対応できないことから、能登半島地震での事例を踏まえて、医療を守る災害対応と業務継続のあり方を考える機会といたします。

このような状況を踏まえ、今回は、市立輪島病院栄養管理室 室長 定見三紀先生と公益社団法人日本栄養士会 専務理事 下浦 佳之先生をお迎えしました。

まず、情報提供として、定見先生に「能登半島地震被災病院での現状について(仮)」と題して、能登半島地震で被災した奥能登の市立輪島病院(自治体病院)管理栄養士に、自施設の状況だけでなく他病院(直営・委託)の現状をまとめて報告していただきます。

続いて、下浦先生に「日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)活動の歩みと今後の展望について(仮)」と題して、能登半島地震を含む、これまでの支援活動から、国からの直接支援がない病院等での人と物の確保体制と栄養士会の支援体制の展望について、ご講演いただきます。

大規模災害の現状を知り、自院でどのような準備が必要か、また、被災時の対応等を検討していただく良い機会になると思います。より多くの管理栄養士、栄養士、調理師の皆様にご視聴いただき、今後の業務改善に活かしていただければ幸いです。

配信開始は、3月14日(金)の予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

栄養部会 部会長
東京都立小児総合医療センター
栄養科長 松倉 時子